

新春特集号

2頁・3頁 戊辰百年祭の計画
 まとまる
 4頁～6頁 新しい会津を築く
 ために
 7頁 アンケート「会津の発展
 を私はこう考える」
 8頁・9頁 新たな決意「戊辰
 百年にあつては」
 10頁 ケーブルの計画
 11頁 新春の話題
 12頁 歴史にみる会津の女性

市政だより

235号

昭和42年1月1日発行
 発行所 会津若松市
 発行人 竹田正夫
 編集 広報係
 定価 5円

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

毎月1日・15日発行



厳しい会津の冬。外は吹雪であるが、ここ県立会津農林高校の温室では、夏の味覚トマトが大きく色づき、訪れる者を夏の季節にさそいこむ。

新年あめでとうございませう

昨年市政執行に当りまして特段の御理解と御協力をいただきましたことに、先ず心から感謝と御礼を申し上げます。

私は本年次の三つの柱を中心に市政の進展を図りたいと考えております。

- 一、戊辰百年を記念する事業の実施
- 一、合理的効率的な広域行政の推進
- 一、未来都市建設のための基盤整備

これら三つの柱を具体的に推進するに当りましては、充分総合的な調査と研究を行ない、住民参加による適正な分担を定め、豊かで平等な市民生活の建設を目標として、計画的な方法ですみやかに実現することを念願としております。

特に市民各位にお願いしたいことは、戊辰百年を契機に、先人の遺業を深く認識し、先人の何ものにも屈せぬ新しい郷土建設への創造的な意欲と情熱を守り継ぎ、本年を真に飛躍と発展の年たらしむるよう共同の力を発揮していただきたいことであります。

また本年は景気が回復するとはいえず、なお前途に厳しさが予測されますので、充分経済動向を注視され、繁栄へ一途前進されますよう念願して止みません。

年頭に当り市民各位の御多幸を心からお祈りすると共に、市政進展に限りなく御協力のあらんことを念願して私の挨拶といたします。

昭和四十二年元旦



会津若松市長 横山 武

として保存しましょう

戊辰百年祭の計画まじまる

実質的な事業が目立つ

今年には戊辰戦役からちょうど百年に当る。百年前会津藩は会津に攻入る薩・長・土などの連合軍を迎え、激烈な戦いを展開した。この戊辰の役は、日本の新しい方向を示すにはあまりにも烈しい戦であった。

会津藩が絶力を上げて、その節義を通じた信念は百年を終った今日でも今なお生き続けている。しかし百年の歩んだ道程はむしろ苦難と苦悩と苦惱の積み重ねの結晶が今日の会津若松市である。戊辰百年を迎える今日、私たちがなすべき道はあまりにも多い。この百年を記念して行なう百年祭は、ただたんなるお祭りであるのではなく、その歴史的背景の意義を認識してこの記念祭を有意義に終らせるため、さらに今後の会津若

松市が遅く歩むための基礎的な事業こそ百年後の会津若松市にとって何よりも必要なことではないだろうか。

そうした意図から市では昨年十月から戊辰百年祭の調査とその史料などを、また百年祭の意義などを集積し、その方法などを練ってきた。さらに具体的な案を樹立するため「戊辰百年祭調査委員会」を組織し加えて昨年十二月その原案がまとまった。

今後、市議会をはじめ民間諸団体による実行委員会(仮称)がつくられ、そこでこの案を審議し、最終的な計画が作成され実施されることとなるが、この委員会での原案は次の通りである。

全市民ごぞつての祭りに

この戊辰百年祭調査委員会の経過を見ると、この委員会が誕生したのは、十月中旬、市の部課長により構成されている。その主旨は、この百年祭を全市民的なものに意義付けすることにより主力を置きさらに、専門部会を設けその内容の検討に入った。その専門部会は、式典部会、行事部会、事業部会、広報部会の四部会に分けられた。

さらに広く市民からもその意見を入れて、この百年祭を市民が心から祝う内容にしたという基本的な態



長岡での史料調査

式典は本丸で

関係団体を招いて

この部会で審議された式典の具体的な方法は、戊辰には全市民の参加を呼びかけ、戦役で戦死した藩士や民間人の霊をまつると同時にその偉業をたたえ、更に会津の発展のための決意を新たにすることという式典の目的にふさわしいものにするため、家および会津藩関係者、戊辰時における会津藩区域の市町村長、その他地元関係者などが主な招待者となっている。

- 一、開式のごとば 又この式典の日取りは九月二十二日を中心に行なうことに意見が固まった。
- 二、黙禱(全市民一斉に)
- 三、市長式辞(市長)
- 四、誓いのことば(市内式典は雨天の場合でも天幕中学生代表)
- 五、挨拶(来賓)
- 六、献花
- 七、閉式のごとば

一、近代日本の開幕はまた、新しい統一国家としての出発でもあったが、そこには、内外の危機を乗り越えるためのげいしの抗争と変動が絶えなかった。この間にあって私たちの先人は、利害を超え平和による解決を念願して努力したが、そこにもたらされたのは戊辰戦争の悲劇であり、敗者の苦悩であった。

二、けれども私たちの先人は、これらのきびしい運命に雄々しく立ち向い、多くの苦難とたたかいながら、新しい郷土を創造するための意欲と情熱を燃やし続けた。起伏に富んだ百年の歳月を通じて、政治経済、教育文化などの分野にわたる先人の業績は、偉大な遺産として私たちのなかに脈々と生き続けている。

三、会津若松市が未来に向けて限りなく前進しようとして今日、私たちは先人の輝やかしい業績に對し、深く敬愛と感謝の念を捧げるものである。と同時に、新しい時代に生きる私たちは、さらに広い視野に立ち全会津の繁栄をめざして努力することこそ、先人の精神を現代に生かす道であると確信する。

新年に臨んで



会津若松市議会議長 岸 久吉
副議長 大須賀 英一

あけましておめでとうございませう。市民各位のご協力により解決を見、軌道に乗せここに新年に当り、先づもって新たな事業の計画策定に前進の希望を描きつつ新年を迎えるに至りましたことは、市政伸展のためまことに喜びに堪えない次第であります。



大須賀副議長



岸議長

にとつて多年懸案の塵芥処理場、国民宿舎の建設を始し、四年度の任期めとし、滝沢峠国道の新設、余すところわずかにして、あるいは富士通信機工場の本年四月改選を迎えることになりました。ここに最後にのぞむ機会において市政発展に資する諸般の事業推進に一段と努力を払い、さらに本市の将来の都市造りに向って、新たな構想を描き、市民の付託に應えるために一丸となり精魂を傾けたいと考えております。この機会に相変らざるご協力をお願いいたします。新年の言葉といたします。

戊辰資料展や博覧会も

行支部会で決まったこと、例のあいづ祭、さらに教育は展示会と記念祭の二つの文化行事市民文化祭、中、柱で構成案がまとまった。高校生弁論大会、小、中学展示会は、戊辰資料展、三生の作文を募集し、さらに代名作展、博覧会の三展示、元会津藩関係保町村児童生会を開き、この戊辰百年祭、徒の体育文化交流会、市民にふさわしい記念行事にな、体育祭を行なう。

また、戊辰戦争で戦死された霊をとりわらう行事にも、特に意が用いられ、京都、十一月までの間に、商工祭、大阪、関東、越後方面の激戦大地の供養を行なうこと、物産展京都大丸)あるいは、民謡民舞大会、会津観光の夕盆踊り大会など、また恒進め、戊辰百年祭にふさわ

昭和四十二年は、戊辰の戦役から百年にあたるが、この一世紀にわたる道程は、会津にとってけわしくきびしいものであった。戊辰戦役直後の会津は、まさに廃墟と呼ぶにふさわしく、混雑としてその帰超もさだめ難かつたし、藩士の多くはさいはての地、下北半島における悲惨な生活を余儀なくされた。

けれども、この酷薄な運命とたたかいたが、新しい出発をしなければならぬ情熱と意欲は、私たちの想像以上のものであり、それは、市制施行が県下でもいち早く実施された事実でも知ることができ

明治の世に入っても道は決して平坦ではなかった。農村に頻発した「ヤアヤア一騒ぎ」あるいは、自由民権運動と、近代化

その事業内容についての、頁参照)、またこの歴史的事業による、城の整備(十な百年祭を意義付けするた

他に例がない。それはいかなる理由によるものであろうか。それは会津を要としておのぎのような奥州を治めるには、地理的条件である。豊臣秀吉が奥州平定の拠点として蒲生氏郷を配した方針は、徳川家康にも受けつがれ、一門の保科正之を会津に封じて

しい。の方法を練っておるることとなる。戊辰百年祭、この歴史的墓地の整備もこれと同時に、な意義を深める柱ともいう行なわれる。また、この百べき記念事業は、特に慎重年祭を記念して行なう博覧審議で計画が練られた。会は県、市、民友、民報、新聞社が共催で行なうよう、事業は後年にまでその意義に計画されたもので、九月十日から十月十日までの一ヶ月間お城を中心にか

その事業内容についての、頁参照)、またこの歴史的事業による、城の整備(十な百年祭を意義付けするた

現在会津の置かれて、低い立場は、容易ではない業、このままでは会津の将来は決して明るいものとはいえない。

今年戊辰百年を迎えることは極めて意義深いことだが、この苦難多かつた一世紀を正しくふまえて、新しい時代への第一歩を踏み出す年である。

その意味で、戊辰百年祭の行事も単なるお祭り騒ぎでなく、後世に伝えらるべきだし、そうしてこそ後世の世代に対する責務を果したといえるべきであらう。

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

また、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

後世にのこる事業を

史料館や図書館を建設

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ



未来にもつと目を閉いて

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

年頭にあたって
助役 清野 清二
あけましておめでとごうございます。
多事多難な昭和四十一年も市民の方々の御協力と御援助によりまして過すことのできましたことに対しま



昭和四十二年にあたりましては、市政のより発展を念願し、十方市民の幸福のため市長の考え方の実現のため凡ゆる努力を払って参りたいと存じます。特に本年は、戊辰百年祭を迎える極めて意義深い年でもありますので、ご先人には、あきらめず、勇気と新しい決意を以て当らなければならぬと存じます。昨年は何んと言っても新産都市である郡山市と新潟市の中間に位置する会津にとりましては交通網の整備が重要課題でありました。関係当局の理解と、地域の方々の熱意によりまして磐西線の電化も本年七月には実現を見ることができるようになりましたが、更に復線化に向けて邁進しなければならぬと存じます。又国道四十九号線及び中央と会津を結ぶ二一三号線の整備が一日も早く完成されなければならぬと存じます。これらの状況の中で市民の二〇%かを占める農家の方々から自立し上って、国の施策、県の施策と相俟って地域格差の是正、所得の増加を図るよう努力しなければならぬと存じます。また私達も行政面から、皆さんと一語になつて進めて参る所存でございます。今更申し上げるまでもなく最近におきまして、我が国経済の高度成長は、社会の凡ゆる面に今まで嘗てない情勢の変化を来たして居ります。即ち大都市への人口、産業の過度集中等に対処するための方策として、広域行政の必要性が強く唱えられて参りましたが従来からの行政区域に捉われては、社会経済の発展に即応する適切な解決がなされないと存じます。

行政区域を越えた相互緊密な体制を講じつゝ、進めて地域住民のより幸福をもたらす諸施策の実現に努力を重ねたい所存でございます。以上年頭にあたり、会津地域のため着実に実行したいと決意を新たに居りますので、昭和四十一年に変わらぬ御理解と御協力をお願い申し上げて年頭の挨拶といたします。

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

め、史料館を、丸に建設し、次第に先、られてる貴重な文献史料を永久に保存する計画が練られた。またこの案には同じ西出丸に戊辰百年を記念して噴水池を設けることや、会津図書館の移転新設、観光開発にともなう史跡の保存開発、小田山公園の総合的な開発も盛り込まれている。とくに小田山周辺を開発しハイキングコース、山頂に展望台、休憩所を建設するなどであ

無火災強調運動
1月1日~1月31日
「火事のない会津若松」となるよう、ことしもお協力をお願いします。

会津を築くために

進めたい根本的な会津の開発

今や会津は自分の市や町や村だけが良くなれば結構という狭い考え方は、何一つ大きな事業の遂行は不可能です。遅れをとるばかりです。全会津が一丸となって、会津独自の開発計画を強い意欲でおしすすめることが国や県の顔を会津に向けさせ、国や県の強力な投資を期待することになり、開発の速度を速めることになるのです。

会津の二十八の市町村で構成している会津総合開発協議会は、会津の総合的な開発計画を作成するためにその調査を財団法人日本経済研究所に依頼し、この度その報告書が完成しました。この報告書は三百頁にわたる膨大なもので、今後の会津地域開発の根本的な考え方を示すものとして重要な意義をもつばかりでなく会津の未来像構成の最初の台石であり、貴重な教示と示唆を与えています。これを詳述することは紙面に限度があるので、その概略を簡単に要約しました。

低い会津の産業構造

会津人の狭い考えに問題

わが国の経済は世界一の成長率で伸びている。確かに国自体としては生産も上がり、経済も驚異的に伸びているが、会津地域の開発は停滞的であり遅々として進まない。

会津地方の一人当りの所得額を見ると昭和三十五年には九万六千円となつていて、これは全国平均を百とすると七十五という水準であり、福島県の平均よりも低くなっている。また産業経済の発展の度合いは、その地域の人口状態に総合的にあらわれるが、会津地方の人口の減少率は福島県全体の減少率よりもいちじるしく高くなっている。例えば昭和三十七年から三十八年までの一年間の減少率を見ると、全県は〇・五％程度であるが会津地域は一・一％である。このように人口を作つては出し、大きくしては出しの人口輸出地域となつてしまっている。

また産業構造から見る

このように会津地方が経済的に停滞的であることは否定できないが、その原因として地元の人たちの資本と努力による地場産業が、漆器をのぞいてないという点から企業意欲の不足があげられる。また排他的精神が強く、外部資本の導入を固くこばみ歓迎しなかつたこともやはり農業の比重が高事などが、会津地方の開発を停滞的にしたと思われる。

関東経済圏との結びつきが必要

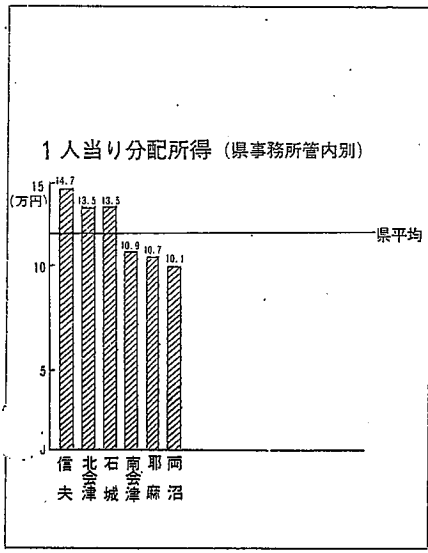
望まれる量産対策

直接東京経済圏としての性格

農業問題

会津の農業を考

会津と、会津若松を中心とする北会津の二つの地域に大別して考慮すべきである。南会津地区は、東京―鬼怒川間に東武鉄道が開通し、田島から三―五時間の短時間で東京に往き来できる。また湯西川―館岩間、下郷―白河間に、それぞれ林道がひらかれ自動車で二時間程度で幹線とされるようになり



格を強めつつあると見てよく、東北・北海道の全域をい。北会津は地理的には交通条件から会津若松市を中心とする経済圏を構成しており、会津若松を通して主として東京市場に連なる。南会津は東京に近くなるという地理的条件から生産の主体を高冷地園芸農産物に切替えることが考えられる。南会津一帯は森林地帯であり、人口も少ないからそ業の病害虫も少ない。

またかつてこの地方では五十万貫近いマユが生産されていたが今ではその三分の一しかできない。これを普通の畑に利用を求めるとそ業やタバコ作との競合問題がおきてくる。しかし現在山都町で進めているような山腹の傾斜地に養蚕農家を育成するとなると、まだまだ開発の可能性は多い。今までの養蚕は農家の副業であった。副業だから規模も小さい。生産も上らないという悪循環がつきまわっていた。しかし所得倍増計画に合わせ、養蚕専業に育成することは冬期間の出稼ぎ防止にもなり明るい見通しである。

この数年ホップが伸びてきている。国民所得の向上はビールの消費増をまねき、それがホップの需要を呼び起している。したがって国内生産だけでは間にあわず、かなり多量のホップを西ドイツから輸入している現状である。ホップの産地として聞かれている長野県山梨県などは古くからのビール製造業者が占められていたために、新興醸造業者が増加分は、勢い同じような自然条件下にある東北地方にホップを求めようになつてきた。このような実情から昭和三十五年当地に

格を強めつつあると見てよく、東北・北海道の全域をい。北会津は地理的には交通条件から会津若松市を中心とする経済圏を構成しており、会津若松を通して主として東京市場に連なる。南会津は東京に近くなるという地理的条件から生産の主体を高冷地園芸農産物に切替えることが考えられる。南会津一帯は森林地帯であり、人口も少ないからそ業の病害虫も少ない。

条例・規則の

制定・改廃状況

〔条例〕▽会津若松市税条例の一部を改正する条例

この条例は、国際観光ホテル整備法第七条及び地方税法第六条の規定に基づき登録ホテル業の用に供する建物に対し、不均一の課税を行なうため所要の改正措置を講ずると共に退職所得手当等に対する所得割の課税が分離課税とされたことに伴う条例の一部改正を行いました。

▽会津若松市水道事業管理者の給与に関する条例

▽会津若松市水道事業の設置等に関する条例

▽会津若松市水道企業物の給与の種類及び基準に関する条例

▽会津若松市索道事業に地方公営企業法の財務規定等適用に関する条例

▽会津若松市索道事業設置等に関する条例

以上五件の条例は、地方公営企業法の一部を改正する法律の施行に伴い関係条例の制定及び改廃を必要とされるため所要の改正措置を致しました。

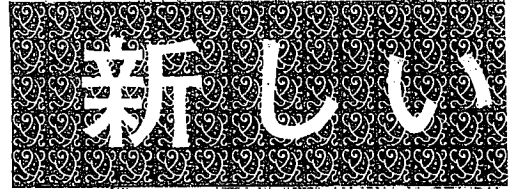
▽会津若松市肉肉センター条例の一部を改正する条例

例のボイル施設の設置に伴う所要の改正及びその使用料を定めました。

〔規則〕▽会津若松市森林組合振興対策事業補助金交付規則

近年いちじるしく立ちおくれ斜陽化しつつある林業を森林組合の充実強化により協業化の促進や経営近代化の指導の面で積極的に活動させ、不振の挽

情から昭和三十五年当地に



会津若松市街一

ビールの処理場ができてからは、ホップの栽培が急速に伸び農家の技術栽培も進み採算も悪くないので、北信についてホップの特産地になるような感じがする。

会津の特産にナメコがある。しかし今のところ生産が原始的で人工培養はなされず、未だに天然産のもの採取しているに過ぎない。缶詰工場も零細規模のものも乱立して、明治森永、国分などの大メーカーの工場でありながら会津の特産物であることはどこにも銘記されていない。この点、まだ改善の余地が多い。それには第一に生産技

利用されない会津の資源

特に遅れている問題点

会津地域の工業を考えると、会津地方も幾多の困難が前途に横たわっている。しかし、努力の累積が実れば近代の精密機器工業、電気機器工業などの発展も可能となってくる。

清酒は観光客の数の増加で城内消費も上昇しているが将来は何んといつてもわが国最大の消費地東京を目標とせば安定した事業の伸びは望めない。品質の向上と合理的価格の維持のためには群小工場の合同も必要であろうし企業合同により良い設備で醸造環境を醸成し、合理化してコストダウンも必要となってくる。

今後囑望される食品工業として、乳製品と畜加工品がある。市乳をはじめ練乳、粉乳、バター、チーズ、ハム、ベーコン、ソーセージ類である。さらには若鶏肉加工品、いわゆるブロイラー、また鶏卵加工品と分野は広い。これらは直ちに着手すべき新工業分野でなければならぬ。

会津地域の工業を考えると、会津地方も幾多の困難が前途に横たわっている。しかし、努力の累積が実れば近代の精密機器工業、電気機器工業などの発展も可能となってくる。

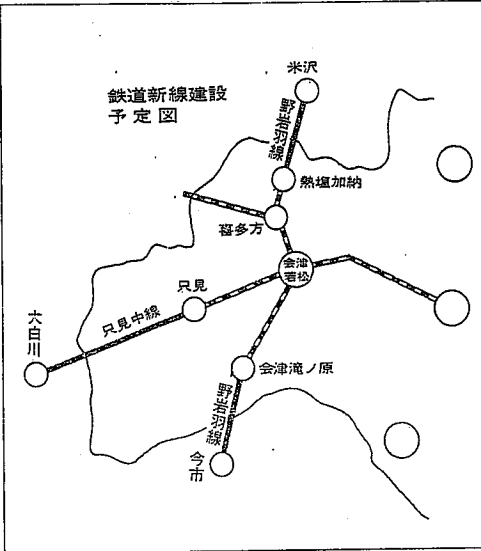
清酒は観光客の数の増加で城内消費も上昇しているが将来は何んといつてもわが国最大の消費地東京を目標とせば安定した事業の伸びは望めない。品質の向上と合理的価格の維持のためには群小工場の合同も必要であろうし企業合同により良い設備で醸造環境を醸成し、合理化してコストダウンも必要となってくる。

今後囑望される食品工業として、乳製品と畜加工品がある。市乳をはじめ練乳、粉乳、バター、チーズ、ハム、ベーコン、ソーセージ類である。さらには若鶏肉加工品、いわゆるブロイラー、また鶏卵加工品と分野は広い。これらは直ちに着手すべき新工業分野でなければならぬ。

当地域の適地産業としては原料が少なくて済む軽量の附加価値率の高い労働集約工業すなわち時計、カメラ、計測器、電子機器、軽電機器、医療器などの工業がよいことは明白である。木材木製品、家具裝飾品

パルプ紙加工、炭、非鉄金属、食料品工業に次いで当域で第三位を占める主要産業である。周辺が山に囲まれ全県の約四十四%におよぶ広さをもち森林全面積の土地柄にしては、企業イオニアの役割を果たしている業績は低迷している。その原因は荷出したる積雪期であること、消費市場に遠く、急伸展が期待されること、小規模経営による合理化不足などが主な原因として上げられる。この系統の工業を盛んにするためには道路をよくし、年間通じて作業ができるような体制を作り出すことである。

たとえば建築材にしても道路が悪いために原木のまま運搬して消費地で加工をすることが多い。道路がよくなれば車に積み前にも決して製品に作り上げて決して荷積みはしない、量も多くなり運べる。それに残材はチップとしてさらに加工して製品に作られ、商品として売出すことができるからである。



短期でよいということになる。これからの林業は数十年あるいは数百年の長い期間をかけて長大な主幹を育成する必要はないのである。それにもかかわらずこの地方の森林の大部分を占める国有林がまだそうしな切り替えをしておられない林業家も依然として山林は財産蓄積の場だということを捨てていないところこの工業の発展が伸び悩んで

回と振興にあたらせようとの意図から補助対象事業種目の拡充を始め規則の内容に大幅な変更があったのでそれに合わせるため補助金交付規則の一部改正をおこなった。

▽会津若松市戊辰百年祭調査委員会規則 戊辰百年祭について基本構想を立案するため委員会規則を制定致しました。

▽会津若松市職員の給料等の支給に関する規則の一部を改正する規則 建設部門強化対策の一環として規則の一部を改正しました。

▽会津若松市設備員公舎に関する規則の一部を改正する規則 旧清掃プラント管理公舎の用途廃止及び第三次住居表示実施に伴い規則の一部を改正しました。

▽会津若松市事務決裁規則の一部を改正する規則 大町土地地区画整理事務所長の専決事項をはっきりさせるための規則の一部改正を行ないました。

市内幼稚園の園児募集

市内の若松第1、若松第2、若松第3、聖愛、行仁、会津、ザベリオ、会津慈光、東明、若葉の各幼稚園では園児を募集しています。ただし、満員のところはご了承願います。

なお、市政だより第233号掲載のザベリオの記事はこのように訂正します

いる根拠がある。会津ハドボード工場を計画的に配置し、さらにそのチップ工場の年間運転を中心に山林生産の促成を考へるべきである。

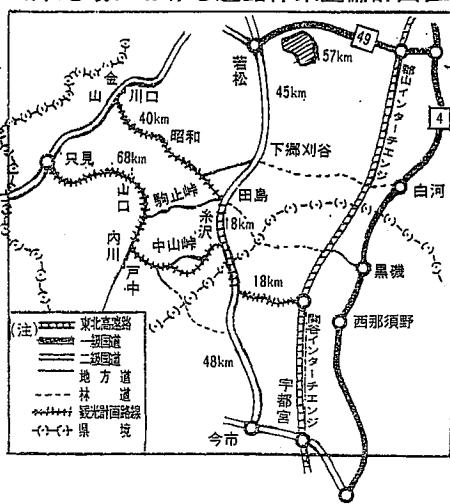
以上会津地域における主な工業部門の問題点について概説してきたが、その外繊維工業、特にメリヤス工業は目下修練期にあり、下請加工を脱していないがやがて技術修得の既には自主営営になり直売あるいは問屋を通して本格的営業に進展してゆくであろうし、これら繊維製品は多種多様であり比較的入りやすい産業でもある米沢の積極的な企業意欲を範とするならば前途は明るいものなるであろう。また窯業土石業にしても会津陶器が依然として中小企業形態に停止していることなく建築様式の

伸び率では最高

だが施設はまだまだ

会津地域は恵まれた観光資源をもち、そして近年における観光客数は急激に伸びつつある。その来訪客数は五百五十万人、その消費額は推計総額七十億円に上っている。そして国民経済の水準が高まるに伴い、観光消費も益々増大することには必至であるから交通施設などの基盤整備をはじめ受入れ体制を整えれば今後益々多くの観光客を迎えることが可能である。観光は

会津地域における道路体系整備計画図



變革にともなう洋式厨房浴室、洗面所、ベランダなどに広範囲に使用されているタイル、あるいは衛生陶器の新規産業界に乗り出すことも考へるべきである。

会津地方の自然的、社会的、経済的諸条件からみて精密工業試験場の設置を考へたい。また会津職業訓練所の機械科、プレス科の増設を望みたいし、工業高校生徒数の増員も早急に希望したい。この地域にとつて最も大切なものは、工業振興ムードの醸成にある。そして既存工業の発展を図ると同時に新規工場の誘致を促進する。この誘致は大工場団地の形成という形では困難であるが、小規模のものに分段的に誘致してゆくという方式によつて附加価値率の高いものを誘致してゆく考へ方が必要である。

限られた小地区のみでなく他の幾つかの観光地を連鎖的に連繫するルートを作成することに益々相互に発展しうるものである。このルートは鉄道と双方整備することがもとより理想であるが、道路の重要性が急激に高まりつつある点特にバス、自家用車の激増に備えてかなり広い駐車場を用意する必要がある。会津の観光ルートは日光―会津―蔵王―仙台―松島というコースが根幹をなさねばならない。

観保護の問題、オフシーズンという予想外の数字がでて、スとして郷土色を活かすことが重要である。

将来の観光の想定をした観光客数、観光消費額、観光所得分推計をみてみると昭和四十五年には約一千八百四十万人の延観光客を迎え、約百八十二億円の消費額を期待し、そのうちの約五十四億円程度の所得を構想の対象としている。この観光にしてもこの地域の昭和四十五年における総所得の推計と比較すると七〇程度である。昭和三十五年では一・八〇程度であるので

交通網の整備がカギ

もつと知つてほしい会津の現況

交通問題

会津を総合的に開発する場合、最も基本的なものは基盤整備であるがそのうち特に交通網の整備について検討することにする。

将来の会津地域開発の本格的なものとなるべき、道路体系としては、東北高速自動車道路に対して、いかに会津地域を結びつけるかという問題である。

東北高速自動車道路への道路の連繫態勢を考へる場合一本の幹線を作ればそれだけで会津の問題が解決するというわけには考へられない。柳津、会津高田、会津本郷を結ぶラインを境に、北を北部会津、南を南会津と二分して考へる必要がある。北部会津の本管道路は、新瀧―平線での道路は、郡山インターチェンジにおいて東北高速道路に連結するという当然の姿になつて

いる。しかしこの新平線の整備だけでは前述したライン以南の南会津の問題は解決しない。南会津がこの新平線まで出て来て郡山インターチェンジに入ることは迂回道路が長すぎる。つまり別の道路体系を必要とする。具体的に候補になる道路について検討してみよう。

問題は根本的に重要な宇都宮、米沢の二道路から

東北高速自動車道路への連絡をどうするかということである。結局山王峠を越えて五十里ダムにかかる上三依から塩原に出る道路―これは現在の道路距離で約十キロメートルの林道である。この間だけを整備すれば、塩原から東北高速自動車道路の関谷インターチェンジまで、約八キロメートルはかなり良い道路がすでについているからこれに連結できる。したがって東北高速自動車道路の関谷インターチェンジから塩原、上三依、山王峠、糸沢、田島の間を東北高速自動車道路の会津肋骨道路として、準高速道路の規格で整備すれば、概ね四十キロメートル余りになる。これを肋骨として糸沢から中山峠の南側を通り内川、山口、只見に至る道路―これを整備する。さらに田島から船ヶ鼻昭和、川口、金山に至るこのラインを整備することによって南会津地方の経済を東京経済圏に直結することができる。これによつて今まで交通不便をかつていた南会津の交通体系が、革命的に刷新され、南会津の農林業の近代化や構造改善も可能となり観光も促進される。

15日は成人式

簡素な服装で参加を

1月15日、市民会館で成人式が行なわれます。入場時間は午前9時20分からで、式典は10時から11時までです。市教委事務局では、あまり目立つような華美な服装はお互につつしむよう、呼びかけています。なお、当日は記念品(成人のアルバム)を贈るほか、式のスナップ写真を無料で後日成人者に送りますから、切手をはった封筒を持参ください。献血に協力を 会津若松保健所では、成人式の15日午前8時30分から、成人記念献血予約登録を市民会館前で受付ます。ご協力ください。

会津若松市漆器連合会
会長

山田源次



山田氏

はいえ、これの促進運動位ではまだ完全とはとても云えない。
三、(1)先づ野岩羽鉄道の早期完成を期し、東京都への注すべきであろう。

短距離化実現に全力を挙げること。

(2)米沢方面に至る道路の完全整備を図り隣県山形との直接交流を頻繁ならしめること。以上については地元選出の国、県議員団は勿論、関係各市長村長並びに同議員一同の積極的な熱意と活動が必要である。またわれわれ市民としても大いに協力せねばならないと思ふものである。なお会

二、当地区は殆んどが山間部を占め、中央部に盆地状をなしているが、交通網の不備不便が先づ最大の痛となつてゐる。もつとも国道新平線は遅まきながら目下着々実施整備中である

会津の発展策

新産都市常磐、郡山地区と新潟地区との間にはさまれた会津地区は、ますます取り残される心配があります。会津の開発は私たち一人一人が積極的に推し進めなければならないのですが、盲目的な愛郷心は会津の発展に何の役にもたないという立場から、会津の置かれている難しい現状をどう打開し、どう発展させるか、ありのままに答えていただきました。

会津の発展策

会津青年会議所
理事 長

山本邦夫

一、歴史と伝統の良さに甘んじて、住民として自分の住む地域を改良していく熱意に欠けている面が強いようである。

二、進取の気性に欠けているから真面目だが、目先の事態に対してだけの視野のせまい活動に終始し、長期的な見通しのない開発をもたらしめていると思ふ。



山本氏

三、暖い郷土愛とともに、冷静に実態を討議することが必要だ。そのためには各界の指導者層がひとりよがりせず、広く発展への熱意を込めた発言をとり入れる態度をもち、制度化への努力をなすべきだと、考え

都市美推進委員会
会津若松委員長

岩崎トキキ

一、会津はどこを見て山また山に囲まれており、発展においては中通り、浜通

りより遅れていることは否めません。会津人の性格もまた然り、女などは貝がらに入つたように自分の思う事すら発表できないことが多い。

二、会津を開発する第一の課題は道路の開発にあると思ひます。産業、教育、文化の発展、また会津の表看板である観光資源の開発など、すべて道路の開発、整



岩崎さん

備あつてこそであります。中央と会津を直結する道路は、会津を発展に導く道と思ひます。

三、私たち市婦連も新生活運動の一環として国土美に力を入れ、町を明るく美しくする運動に力を入れてまいりました。暑いさなかにお城の清掃、背炙山の波状の清掃、側溝の清潔保持に力を入れました。明るく住みよい街づくりをし、感じの良い街にしてどんどん観光客を受け入れたら、この会津も発展するのではないかとと思われまふ。

会津短期大学
学生部長

野々山三郎

一、少し酷評に過ぎるが、ねむれる資源、ねむれる会津といった現状です。動きたくとも動けない痲痺的症

質 内 容

- 一、会津の現状をどうお考えですか。
- 二、会津開発の一番のガンは何だとお考えですか。
- 三、そのガンを取り除く具体的な方法をお聞かせ下さい。

状でしょうか。

二、東京と言う大需要地に遠く、交通開発のおくれのため工業地帯になる可能性が薄いと云う宿命的な地理的不利と、国も県も施策の重点をいわき市、郡山市におき、会津をあきらまわしにしている政治的不利。

三、国鉄、道路、空による交通の開発により少しでも



野々山氏

三、いろいろ考え方があつたと思ふが、立地には基本的に次の三点に要約できるのではないかと。

東京との直結をはかること工場誘致、大学設置により青年層を県外に逃がさぬこと。いわき市、郡山市につづく次の重点施策地を相馬白河に先取りされぬよう、たゆまぬ政治的働きかけをする。

会津若松市役所
収入役

菊地義雄

一、会津は立地的に宿命ともいえる僻地性が完全に解消されない。これがためあらゆる部門の立遅れの因となり、特に産業の立地を阻



菊地氏

(1)国民経済の立場から、資本、雇用労働力など、(2)経済地理の立場から、位置、距離、用水、用地、交通など。

(3)環境因子として、消費市場との関係など、一つ一つ整備する必要があるが、重点をしれば特に交通体系の整備と強化が焦点と考へる。

成人式講座を開設

市民館では、成人式を迎える人のために、この講座を開きます。

1月11日・12日・13日 午後6時30分～9時

市公民館4階 第1講義室

①郷土の歴史 ②青年期の衛生知識 ③これだけは知ってほしい法律知識その他、毎回映画と歌唱指導があります。

講師 郷土史家 山口孝平氏ほか。

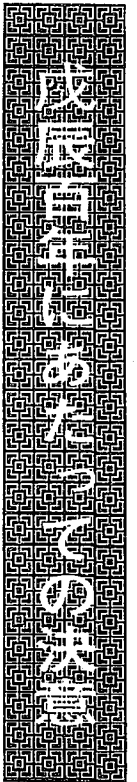
申し込み 1月9日まで公民館(電話2-1874)へ。

新年民謡唄い初め大会

1月7日午後6時・市民館3階ホール
主催・市民館
どなたでも自由におでかけください。

子供会書きぞめ展

1月14日～16日・公民館3階ホール
主催・市民館・市子供会育成会連絡協議会



新春座談会

会津はことし戊辰戦争から百年を迎える。

私たちの先人は、戊辰から今日の会津若松を築くまで、多くの犠牲と屈辱との、並々ならぬ苦難の道を歩んできた。私たちは百年を迎えて、今日当面している多くの問題を抱えている。

「戊辰百年に決意する」というテーマで座談会を開き、過去百年間の歴史を顧みると同時に、本市の未来の歩みについて語っていただいた。

避けられなかつた戊辰戦争

司会 新年おめでとうございませう。ご承知のとおり、ことしは戊辰百年の年でもあり、この新春に、明治百年をふりかえって、新しい時代に生きる会津若松市が今後の歩む道というものを、ここでしっかりと見定なければならぬと思つております。そうした市民の決意を語っていただくためこの座談会を設けた次第でありますので、忌憚ないお話しを頂きたいと思つています。まず山口先生から。

山口先生から、戊辰戦争は、武士だけでなく農村、都市を問わずにわたる民衆各階層が何んらかの形で、この内乱に参画しているのです。ですから平時ではだれでもが予測できなかった新しいさまざまな事象が出現しているのです。よく幕藩体制の解体といわれていますが、戊辰の年は古い政治的あるいは道徳的原理が敗北して、新しいその誕生と

勝利をみた年だと思つては、だから戊辰戦争は、平時の何倍もの速度で政治、経済、思想その他あらゆる分野で、新しい時代の転換を担った戦争だと私は見ています。そこに戊辰戦争の史的意義があるのではなかつたかと思つています。



高橋先生

司会 戊辰戦役が一種のクレーダーであるという見方もあるようですが、この見方は、はたして妥当であるかどうか、高橋先生いかがでしょうか。

高橋 鳥羽伏見など、わずかに十日や二十日の間に京都でめまぐるしく指導権が変転していくところをこまかく見ると、そういう説も成り立つが、もっと長い目でみると幕藩体制というものは、政治経済上の矛盾が増大して、おそれればやがて大改革をしなければならぬという歴史的事実が根底にあったと思つています。その中で誰が指導権を握るかという段階になると、いわばクレーダー的な政策が百鬼夜行したおつて、会津藩はそう行した運命の中に、好むと好まざるにかかわらず、おいこまされていったというふうな考へるのですがね。

山口 あの当時の藩主容保は、京都守護職に任命される時から、平和を極力望んでおられるのです。幕府のため、朝廷のために切つたことが、両方から裏切られ、まきこまれてしまい、惨害をおよぼしたというところになると思つています。高橋 百年後の今考へると、会津はバカな戦争をやつたもんだという、単純な批判もあると思つていますが、会津藩のつた運命を、百年前の時点に立つて考へる必要が、あると思つています。幕府、禄をもらつていた大名が三、四、五、六もあつ

て、今、幕府がほろびる時に、一番か二番が最後まで幕府に殉ずるといふのがありまえてなかつたらおかしい。そういう点では会津藩が天下の大軍を向うにまわして、あれだけ戦つたというところは、やはり、あの時代において評価していいんじゃないか。ただその評価をいつまでも、懐古的だけのを考へ方では、会津にまつては発展性がないように思つています。

新築 私たち会津の人間にとつて、戊辰戦役と比較されるのは、今度の第二次世界大戦じゃないかと思つています。両方とも敗戦という結果に終つていて、そして戊辰の時は相当な人材がなくなつていられるにもかかわらずすぐれた人材が出ていふ。第二次大戦では、全国はもとより会津でも、前途有望な青年がなくなつていふ。しかし、それに反して、今はあまり人材があらわれないのではないかと考へてはどうか。ちょうど昭和四十二年が戦後二十二年、そして市町村制度が確立したのが、明治二十二年といふ、あまりにもタイミングがあいすぎる感じがするのです。そこに意義がある。そのような気がするのです。山口 当時国力も衰え、外国の圧力にも悩まされていふので、日本将来のために、どうしても国家革新の必要に迫られていた。その国家革新の目的を達する手段方法については、二つの異なる主張があつたと思つています。その一つは幕府から政権を奪おうとする武力



山口先生

解決であり、他の一つは幕府が自発的に政権を放棄するよう運ぼうとする平和的解決だつたと思つています。武力派の長州、薩摩は徳川三つを倒す。一方、士佐やその他全国の諸大名は、平和的にすすめたので、幕府も大政奉還にふみきつたのです。が、事実はその逆に運ばれたので、すから皮肉ですね。

明治維新はクレーダー

後に尾を引いた自由民権運動

新築 松平容保は政治的な手腕を相当もつていて藩公であつたが、やむにやまれぬ結果になつてしまつた。より結果の中に当時もつと政治的腕の持ち主がいて外交的にことをすすめたならば、あのような結果にはならなかつたのではないかと考へています。高橋 戊辰戦争のときに一本だと思つています。基

司会 もう一つ、長州の場合同じく、長州征伐や蛤御門で戦つたらうらみから感情的になつて、長州が会津戦争の先鋒になり、会津を徹底的にたたいたのではないでしようか。高橋 フタを開ける前は、東北は一致して戦うわけだつたのが、フタを開けてみたら会津藩だけで……。司会 これが会津人の馬鹿正直さというか、藩の儒学徹底した教育がそうした考へ方をさせたのか、といふところから今後の史学の

県立湖南高校教頭
(四十一年度原文)
(化功労賞受賞者)

高橋 哲夫
会津若松史出版委員会
山口 孝平
会津若松市総務部長
新築 辰五郎
(司会)
会津若松市秘書課長
竹田 正夫

上でメスを入れてみたいですね。新築 やはり御家訓の影響が絶対といつていいほど大きかつたのでしようね。山口 これは、明治二十六年に長州が中心となつて政府が作った「復古記」をみるとこの藩が勤王の藩であり、どこが朝敵の藩であるか、はつきり書いています。が、会津の「京都守護職始末」という本が出版されてからは、朝敵といわれた藩側の史料が研究され、現在の維新史の研究では、会津も歴史の流れのなかに、正しく評価されるようになってきました。



ていたのが血にまみれて勢と力ゼロになり、そのつぎのクラスが反動として出てくる。しかし、やぶれた人は発言権がないからだが、まにまにだ。だから「ヤアヤア一撥」は、会津藩が秋に降伏したことに對し、三百年來藩から支配されてきた百姓たちの反動であって、別に思想的な面はまったくないと思えます。

山口 そうですね、思想的ではなくて、南会津の方から入って来た西軍が、会津の力を弱らせるために、年貢を半分にするとか何とかいって民心をけしけけたね。

山口 そうですね、思想的ではなくて、南会津の方から入って来た西軍が、会津の力を弱らせるために、年貢を半分にするとか何とかいって民心をけしけけたね。

建性に反発

根強かつた民権運動

司会 歴史的な意見からみて、三方道路の価値づけはどうか。

高橋 これは「会津若松史第六卷—明治の会津—」にくわしくのっています。あのころ若松の生産は、ぶん高まっていたが、外界



新 城 部 長

との交通がおもわしくなく、発展している経済が非常におさえつけられていたのが、三方道路の建設によって、原料の供給、製品の輸出という点では、緊急な必要要件であったのです。そこに目をつけて実行しようとした三島は、やはりひとかどの政治家であったと私は評価します。だから、その時のやり方が封建時代そのままの感覚であったところに反発が出たのです。

新 城 その当時、先見の目のある人たちは、道路はやはり造らなければならぬと陳情をしています。道路建設のタイミングはよかったです。方法が悪かったのです。

山口 全村民あるいは全町民に、道路建設に出ない者はいくらとあって、莫大な金を徴収した方法は、たしかに封建時代の感覚ですね。

それさえなくって、あの建設を進めたら、たいしたものでしたね。

司会 今というP・R不足ですね。(笑)

高橋 行政感覚としては、三島は第一級ですよ。四十三、四才のころですね。

山口 三島が出ましたからお話し申し上げますが、若松時代の県知事は、みんな偉い人ですよ。非常に会津に同情しているのです。意見書や嘆願書をよく熟読して、良いものをとり上げる。そのために十年間、くわいして無土が次第によく

なってきたのです。

会津人の生きた道

学界に多くの人材出る

新 城 天守閣が破却の運命を前にして、人が望んだ博覧会開催を件介としてくれ、許可されたのですが、あれが三島なら、だめだったかも知れませんね。

山口 先程、城下町の復興に對して市民の努力のことをいいましたが、その当時の県令が相当な温情をもって導いていて、復興をさせたということですよ。

司会 それから、熱塩あたりの自由民権運動は、藩時代からつながるものがあるのでしょうか。

山口 明治四年に出た四民平等令や、斬髮廢刀令が出て自由に見ても出せるようになったところに、自由民権の静かなブームが養われてきたのではないのでしょうか。

津人の氣風が、悪い結果を生んだということですか。高橋 悪いではなくて、経済という独特の商人の道だから藩の教育がいくらか徹底していても、侍の一人です。それから、そういう点で関西人からみると商人道というものが、そういうものがないですね。現代人も同じですね。司会 先程高橋先生が話されたように、経済的には会津の間は少し弱いという

高橋 ご承知のように会津藩は朝敵で徹底的にたたかれ、明治四十年ころまで薩長が中央政府を牛耳って、会津藩のいかにすぐれた人でも、役人としては絶対出世できないんです。人物がいなかったのではなくて、藩閥政府が続くかぎり、会津藩は今の言葉でいうと反主流派ですから絶対出世できない。会津藩から東大や京大の総長などすぐれた学者が出たのは、役人や軍人はだめだということ、必然性があるのです。これはやはり戊辰戦争以後、半世紀の間会津の

人が反主流の境地においやられていた必然の結果が学問を生んだといえるのではないのでしょうか。

山口 会津藩士の教養は、あの当時において諸藩にくらべて群を抜いているのです。あれが明治になってですね。あれが明治になってですね。あれが明治になってですね。

百年を期し史料館の建設を

後世に残る事業と決意

司会 戊辰百年を迎えて、会津人はどういうところに決意を新たにする必要があるのでしょうか。

高橋 よそと比較してみても、会津人はもっている人情とか風俗とかは、非常に他にない良さを私は多く感じています。だから、それを見失わないでもらいたいです。そして、経済や文化にまつ近代性、未来性があったら何もういことはいらないと思います。

山口 私は、市史と百年史に關係したことから、百年を期して史料館の建設を望みます。

新 城 市では戊辰百年祭調査委員会をつくり、私がその委員長をやっています。この史料館の建設は記念事業として一本の柱として永久に残していくというふうな事業ですね。戊辰百年という記念すべきものを、ただお祭り騒ぎで終らせていたくないですね。(百年祭については二、三面参照)

高橋 行事などは終ってしま、は終りますから、精神的なものにポイントを置いた事業ですね。

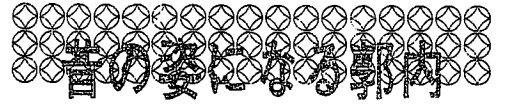
司会 ではこの辺で。どうもありがとうございます。



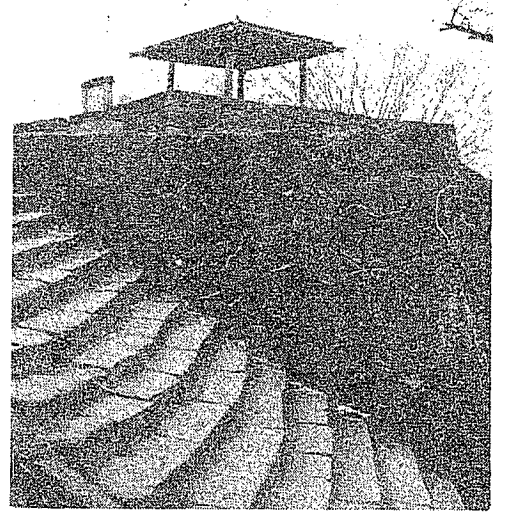
竹 田 課 長

を期して史料館のようなものを建設してほしいということ。市史編さんの画

鶴ヶ城



第2次整備計画まとまる



戊辰百年を記念

九月末の完成めざす

鶴ヶ城の第二次整備計画 やぐらは乾飯(ほしい)やがこのほどまとまり、史跡ぐらにはじめ月見やぐら、若松城現状変更許可申請を 県教委に提出しました。県教委の諮問機関の県文化財 専門委員会では、この提出にもとづいて十二月二十一日、計画の実施調査のため鶴ヶ城を訪れました。県教委の審議のあと文部省文化財保護委員会へ審査を受け、許可がスムーズにゆけば、市では戊辰百年事業として四十二年度早々着手し、ことし九月末までに完成させる方針です。

鶴ヶ城の第二次整備計画は、四十年秋完成した天守閣の再建に次いで、本丸を中心とした整備を進め、鶴ヶ城を復元しようというものです。天守閣を設計した東京工業大学の藤岡通夫教授に再び設計を依頼しました。計画によると、本丸を取り囲む石垣の上に走り長屋隔やぐら、門、へいを設け天守閣を中心に本丸を包み込むようにして往時の姿を再現することになっており、総工費は一億四千万円が見込まれています。

走り長屋は、鉄(くろがね)門から南へ伸びるもの一むねと、天守閣の北側から東へ伸びる二むねを予定し、鉄骨造り平屋建てで面積は合わせて千二百五十一平方メートルになります。

新年おめでとうございます。「会津若松史」の刊行事業は、皆様の御協力により極めて順調に進められ、昨冬十二月の「戊辰編」に引き続き近く「史料編」が生れ出ようとしております。更に、昨年は戊辰戦役百年を記念して、「写真図説近代会津百年史」を出版いたしましたところ、これまた予想以上の御好評を頂き、喜びにたえません。

今年、「会津若松史」の出版を更に円滑に進める一方、「鶴ヶ城物語」、小、中学校生向けの郷土読本とも云うべき「ジュニア版会津若松史」、「会津の民話」などの刊行を計画しております。

特に「鶴ヶ城物語」は、今年行なわれる戊辰百年祭の協賛事業として計画されたもので、画期的なものなるうと思っております。一流作家との交渉も昨年十二月に決りまして、鶴ヶ城が築かれた日から戊辰戦の開城に至る約四百五十年の間、多くの変遷はありましたが、これらの風雪に堪えた歴史は、まさに多彩なものを秘めております。「鶴ヶ城物語」は、そこにまつわる哀歎の秘話に題材を求め、別記のように一流作家が新たに書き下すものです。

今春早々予約を開始する予定ですが、皆様の御期待に十分そえるものと確信しております。

会告

鶴ヶ城物語構成

- 序説 会津歴史雑感 中山 義秀
- 本編 海音寺 潮五郎
- 英雄 芦名盛氏 南条 範夫 会津における伊達政宗 村上 元三 蒲生二代と鶴ヶ城 永井 路子
- 附編 会津歴史の旅 松本 清張
- 上杉景勝と会津 杉本 苑子 加藤明成と会津 田宮 虎彦 保科正之の藩政 池波 正太郎 戊辰時と容保 司馬 遼太郎 会津白虎隊 柴田 鍊三郎

会津若松史出版委員会

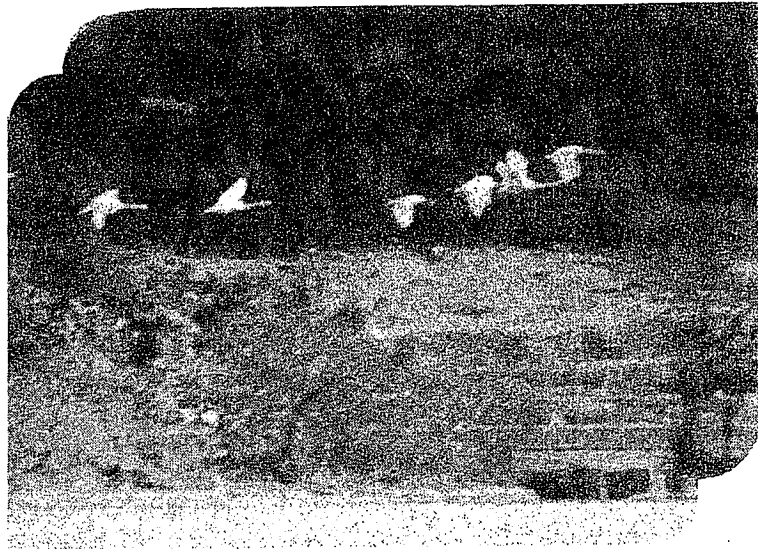
昭和四十二年元旦

新春に舞う白鳥

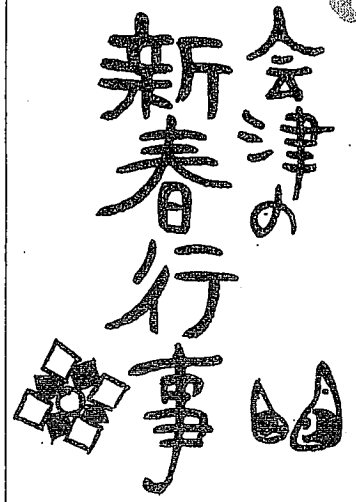
今年も猪苗代湖に飛来

数年前から毎年、ここ猪苗代湖に数十羽の白鳥が、シベリアからやって来る。ここで、冬を過ごし、やがて春になるとシベリアに帰ってゆく。

猪苗代湖をゆうゆうと舞い遊ぶ白鳥の姿は、厳しい会津を色どる一コマであるう。

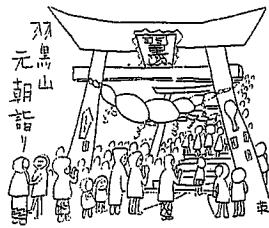


目でみる



▽一月一日元日まいり
会津若松市東山温泉羽黒神社

▽一月八日初市 大沼郡本郷町
▽一月十日十日市 会津若松市



▽一月二日初市 南会津郡田島町
▽一月七月初市 耶麻郡磐梯町
▽一月七日樺まつり 河沼郡柳津町

▽一月十二日初市 喜多郡方市
▽一月十三日初市 耶麻郡西会津町、猪苗代町、山都町



▽一月十四日儀引き 河沼郡会津坂下町
▽一月十四日初市 大沼郡会津高田町
▽一月十五日初市 耶麻郡塩川町
▽一月十七日初市 喜多郡方市(小田付)
▽旧一月十五日小林早乙女踊り 南会津郡只見町

期待される観測活動

会工高に天文台おめみえ

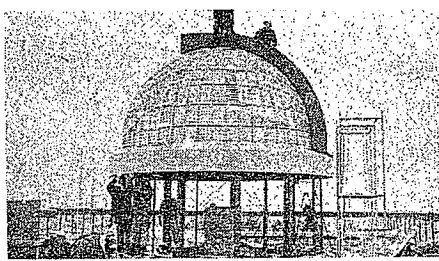
会津工業高校にいま天体観測ドームが作られ、話題になっていきます。これは福島県内には理科教育センターに一つあるだけです。また、県下の県立高校では初の天文台です。

この観測ドームは直径四・五メートル、外側はアルミで囲まれ、二十四時間で一回転することになっています。その中に二つの望遠鏡がとりつけられています。一つは、四インチ屈折望遠鏡といつて、大学や高校、天文台、公民館やアマチュア用に最適な据付型赤道儀で、電動駆動装置によって自動的に鏡筒を目的の天体に向けておくことができ、高度の観測成果をあげることが出来ます。

もう一つの方は二百五十ミリ反射望遠鏡で重さが二百五十キロもある大きなものです。この観測には、天体観測班があたります。また、この他、氣象観測や地質に関するこ

とも行ないます。とくに会津地方は晴天率が少なく、山が多いため観測範囲が狭いので、関西地方の観測に比べると遅れがちになるが、これからはこの天体観測ドームを大いに利用して他の地方に負けないよう努力すると、担当の先生は語っています。

この観測は今月早々開始されますが、会津工業高校天体観測班の活躍は、今年の大きな話題になりそうです。



償却資産の申告は31日まで

この申告書は毎年1月1日現在において事業用資産(機械備品など)を所有している者が、1月31日までに提出するものです。

ことしは昨年と異なり、全資産を申告していただきます。この申告について不明な点は、市税政課(新館2階)第1固定資産税係へお問合せください。

保育所の入所申込は1月末日まで

4月から新たに入所されたい方は、今月末日まで市福祉事務所へお申し込み下さい。

なお、入所できる基準となるのは、母親が勤めていたり、病気をしているなどで子供を家庭で保育出来ない事情にある方に限ります。

